

(様式5)

調査報告書

訪問調査日	2008年12月1日
調査実施の時間	開始 10時00分 ~ 終了 15時30分

訪問先事業所名 (都道府県)	グループホーム おおきな木 (鹿児島県)
-------------------	---------------------------

外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

評価調査員の氏名	氏名	石松 成子
	氏名	竹下 公子
事業所側対応者	職名	管理者
	氏名	山野 和美
	ヒアリングを行った職員数	3名

※記入方法

- 「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
- 「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に○をつけてください。

※項目番号について

- 外部評価項目は30項目です。
- 「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
- 「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 12月 7日

【評価実施概要】

事業所番号	鹿児島県指定 第4677700173号		
法人名	有限会社 三木		
事業所名	グループホーム おおきな木		
所在地	鹿児島県肝属郡南大隅町根占川南3612番地 (電 話) 0994-24-2001		
評価機関名	NPO自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構		
所在地	鹿児島市星ヶ峯4-2-6		
訪問調査日	平成20年12月1日	評価確定日	平成20年12月29日

【情報提供票より】 (20年11月17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 5 月 31日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤10人, 非常勤4人,	常勤換算13.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1 階建ての	~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有 (円) ○無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) ○無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり		800 円

(4) 利用者の概要 (11月 17日現在)

利用者人数	14 名	男性 1 名	女性 13 名
要介護1	6名	要介護2	2名
要介護3	1名	要介護4	3名
要介護5	1名	要支援2	1名
年齢	平均 88.8 歳	最低 80 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	今隈医院 ・ 阿久根医院 ・ 永田歯科
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉協議会や福祉センター・商店街に近い便利なところにホームがあり、シンボルの「おおきな木」の下で、地域住民と自然な交流が行われている。老人会にも積極的に参加し、ボランティアの訪問も多く地域に開かれたホームとして活動している。利用者は顔なじみの中で安心して穏やかに生活しており、職員は利用者一人ひとりを大事に思い、毎日のケアに取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 家族等への報告について、ホームの新聞は入居者の様子や暮らしぶりが判り易く作られ、個々の報告書も改善されている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 評価の意義について職員に説明し、分担して評価に取り組み、改善点など話し合い、評価をサービス向上に活かすように努めている。
	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 家族・地域住民代表・行政担当者などに参加を呼びかけ、定期的に開催している。ホームのサービスの実際や状況を報告説明し、質問や意見をサービスの質向上に活かしている。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会や運営推進会議を開催し、家族からの不満や苦情を聞く機会を設けている。サービス等についてのアンケートを実施し、サービス向上に活かしている。
	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内行事や社会福祉協議会で開催される老人会に参加したり、小学生やボランティアとの交流も積極的に行っている。ホームの前の大きな木の下ベンチで近隣住民と、おしゃべりをしたり、唄を歌ったり自然で楽しい交流ができています。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今までの理念を見直し、地域密着型サービスとしての役割について話し合い、ユニットごとの理念を独自に作っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	申し送り後に理念を唱和し、見やすいところに掲示し、理念を意識してサービスを行なうよう努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内行事や社会福祉協議会で開催される老人会へ参加したり、小学生やボランティアとの交流を積極的に行っている。ホームの前の大きな木の下ベンチで近隣住民と自然な交流ができています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価について職員に説明し、分担して評価を実施して、改善点など話し合い、評価をサービス向上に活かすように取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族・地域住民・行政担当者などに参加を呼びかけ、定期的開催している。ホームのサービスの実際や状況を報告・説明し、質問や意見をサービスの質向上に活かしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームの実情や行事の様子など、ホーム新聞を持参し相談や報告をしている。社会福祉協議会が近くにあり、協力関係が築かれ、サービスの質向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月請求時にホームの新聞と、担当者が入居者個々に日頃の状況や健康状態、預かり金の収支等を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議を開催し、家族からの不満や要望・苦情を聞く機会を設けている。ホームのサービスについて家族から、アンケートを取り、サービス向上に活かしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員が対応することの重要性を理解し、採用時は、実務体験の期間を設け、勤務も二人体制等工夫し、職員の意見も運営者に伝え、入居者のダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画を作成し、外部の研修会への参加やホーム内の勉強会など計画的に実施している。研修報告や研修資料を全職員で共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の連絡協議会に加入し、交流会に参加している。		地域の同業者と職員相互の交流をすすめる、サービスの向上に活かす事が期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居の前に、見学を勧め、自宅訪問や、体験入所、お茶呑み等、入居者が徐々になじめるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常や散歩時の会話の中で、昔の出来事や歌など教えてもらい、一緒に過ごし学びながら、支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の担当を決め、申し送り時に報告・記録をしたり、気づきノートを作成して、思いや意向を汲み取るよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の希望や意向を聞き、担当者会議を開催し、必要な関係者と話し合い、利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて見直している。家族の要望や状態変化の場合は、関係者や職員と話し合い、臨機応変に見直しをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族と相談し、病院送迎や受診介助・自宅訪問・墓参りなど柔軟に支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望する主治医の受診を支援している。協力病院が近くにあり、相談・往診等協力関係が築かれている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期のあり方について、必要な場合、家族・主治医・管理者と話をしているが、全員で方針を共有するに至っていない。	○	事業所が対応し得る支援方法について、職員も交えたチームで話し合い、対応方針の共有を図ることが求められる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居時に写真掲載について了解を求めるなど、プライバシー保護について配慮している。目立たない声かけややさしい対応ができています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課は特に決めず、入居者の体調に配慮しながら、一人ひとりのペースを大切に支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや配膳等、できることは一緒に行い、誕生日の食事は好物を聞いて祝っている。新鮮な野菜や手作りのおやつが差し入れされたりして、食事が入居者や職員の楽しみになっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の体調を見ながら、気の合う人や音楽を聴きながらの入浴など、希望やタイミングにあわせ入浴を楽しめるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみ・草取り・野菜の収穫・切り干し大根や漬物作り等、生活歴を活かした役割や楽しみごと、温泉など気晴らしを支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日など、散歩や買い物に出かけたり、大きな木の下ベンチでおしゃべりや唄を歌い過ごしている。希望に添って友人宅の訪問等もしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけないケアの大切さを理解し、入居者の状況把握と警察の協力を得ながら安全面に配慮し、自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域で起き得る種々の災害を設定し、消防署や地域住民の協力を得ながら、避難訓練を実施している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量をチェックし記録している。体重管理や栄養士から献立についてのアドバイスをもらい、一人ひとりの栄養バランスに配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや脱衣所・トイレも広くゆったりした作りで、テーブルやソファが配置され、畳コーナーなど家庭的で、居心地よく過ごせる工夫がなされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンスや本人・家族の写真、ぬいぐるみ、好きな花などを飾り、居心地よく過ごせるよう工夫している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。